



## 第 163 回 日本知能情報ファジィ学会理事会 議事録

日時：平成 21 年 6 月 6 日 16:00~19:30

場所：明治大学 お茶の水駿河台キャンパス 研究棟 3 階第 10 会議室

参加者：高木、荒井、高間、渡邊、山田、谷口、市野、前田、三好、延原

### 1. 第 11 期理事会のビジョンについて

高木会長より、資料 163-4 に基づき、第 11 期理事会のビジョンについて説明がなされた。

### 2. 第 11 期理事会の当面の活動予定について

高木会長より、資料 163-5 に基づき、理事会の当面の活動予定、および各理事の分担について説明がなされた。

### 3. 第 10 期理事会からの引き継ぎ事項について

高木会長より、第 10 期理事会からの引き継ぎ事項および第 11 期理事会の戦略構想との対応について説明がなされた。

### 4. 学会の各種賞選考について

荒井副会長から、各種賞選考の進捗状況について説明がなされ、近日中にメール審議の実施について説明がなされた。高木会長より、賞の種別が複雑になっている点について指摘があり、今後、荒井副会長が賞の種別および選考手順等を整理してゆくこととなった。

### 5. 年度内事業補助金制度の運用について

渡邊事業担当理事より、資料 163-1 に基づき、年度内事業補助金制度の運用について説明がなされた。補助金全体の額について議論がなされ、100 万円程度を上限とすることとなった。審査基準についても議論が行われ、現状の審査基準を維持することとなった。

### 6. 横幹連合について

山田将来計画担当理事より、横幹連合への関与・位置づけについて説明がなされ、今後、高木会長によって、外部組織との連携について整備されることとなった。

### 7. 広報関連について

市野広報理事より、サーバ移転、バナー広告費の事務処理の手順明確化について説明がなされた。今後、サーバの管理体制の最適化について、検討してゆくこととなった。ひきつづき、市野広報理事より、各種事業等の情報の経路について整備が必要である点が指摘された。今後は、紙媒体（学会誌の会告）については縮小してゆく方向で検討し、Web に



一本化することとなった。

8. 会計について

谷口会計担当理事より、貸金庫の利用について提案がなされ、承認されることとなった。

9. 次回理事会について

2009年7月14日のイブニングセッション（旧名：ビアセッション） 18:20～

部屋情報は、後日、延原庶務担当理事より連絡。